

学校教育目標 新しい知を拓き、ともに生きる豊かな社会を創るため、主体的に学ぶ、人間性豊かな「南古谷っ子」を育成する
目指す学校像 みんなが みんなを 大切にする学校
南古谷小学校5つのじまん あいさつ ことば なかよし 読書 歌声

川越市立南古谷小学校



学校だより

なのはな

かしこく ゆたかに たくましく

令和6年9月27日発行

個の力、仲間との協力を高めて

校長 馬場 雅史

通勤経路の道沿いに某高校の野球のグラウンドがあります。そこに併設されている建物、おそらく野球部の部室と思われますが、そこに「挑」「心」「継」という大きな文字が掲げられています。「挑む心を継ぐ」と読み取れば、「自分自身の挑む心」と「仲間の挑む心」を受け継ぐという二つの意味で解釈できるのではないかと考えました。個を鍛えつつ仲間と共に競い合う野球をはじめとするチームスポーツに、それだけでなく、おおげさに言えば人生にもとてもフィットする言葉であると心に留まりました。改めて、言葉のもつ力に目を開かれた思いです。

海の向こうでは、LAドジャースの大谷翔平選手がMLBの歴史を次々と塗り替える大記録を更新中です。本塁打数と盗塁数を示す記録がテレビや新聞等で連日報道され、起床と共に記録を確認する日々となっております。数字上の記録もさることながら、大谷翔平選手が勝利に貢献する劇的な活躍や塁上で見せる茶目っ気たっぷり、笑顔溢れるそぶりも印象深く心に刻まれています。その陰には、日々の鍛錬や研究があり、併せて「仲間と共に世界一へ。」の思いがあるのだと思います。プレーオフ進出を決めたスーパースターの快進撃に、10月も注目したいです。

さて、いよいよ明日令和6年度の運動会が開催予定です。ここに来て朝晩は涼しくなってきましたが、2学期が始まった9月当初から先週末までは「暑い！」が口癖となるほどの日々が続いていました。そのような中でも、子供たちは運動会に向けて競技種目と表現種目の技を磨いてきました。競技種目では、個人の頑張りや仲間との協力を軸にそれぞれの学年で丁寧さとスピード、力強さが加わってきました。表現種目では、各学年の発達段階に応じた個と全体の動きが結び付き、リズム感と格好良さ、一丸となる姿勢が高まってきました。加えて、縦割り活動を踏まえた各組毎の応援団による『運動会の歌』や応援合戦にも迫力が増してきました。いずれも、子供たち一人一人の成長と仲間とのかかわりによる学びの成果と確信しています。「練習は本番のように、本番は練習のように」という言葉を聞いたことがあります。練習時に汗をかきながら、試し、迷い、苦しんだ経験を越えて、本番は緊張感も含めて楽しんで欲しいです。今年の運動会スローガンは、「協力・笑顔・あきらめない～みんなが輝く5色の星～」です。計画委員会の子供たちが中心となってこの言葉を決めました。この言葉には、子供たちが子供たちとして見いだした意味が込められています。校長としては、運動会だけでなくこれからの学校生活、教育活動の中で子供たちを主役として輝かせるためにも心に留め置きたいです。

10月を迎えると令和6年度も折り返しとなります。週末ランナーとして最近感じることは、折り返し地点こそゴールまでの肝となるということです。前半に調子よく走ることができたか、ブレーキ気味だったのか自己点検する重要な地点となります。翻ってこの折り返しの時期に、職員と共に子供たちの成長を促せたのか、子供たちの自己肯定感が高められたのかということをお問、最後まで完走する挑む心を継いでいこうと思います。

